

2024 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分	基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	異文化コミュニケーション		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2学年		学期及び曜時限	通年	教室名	新館2F,3F
担 当 教 員	森田佳奈子	実務経験と その関連資格	12年間、カリブ・アフリカ地域などで緊急医療、国際保健活動に従事。現)長崎大学熱帯医学研究所国際保健分野研究員(リバプール熱帯医学校 国際公衆衛生と性と生殖)			
《科目目標》 患者さまの背景にある異なる文化・慣習から疾病要因や生活習慣のリスクを探るのに必要な情報源を聞き取る力を身につける。 日本語が話せない外国の患者さまに対して、わかりやすく丁寧な日本語で医療通訳のできる技術を取得する学ぶ。 アメリカにおける看護実践や文化・制度の違いを学び、国際的な視野を広げる。						
《成績評価の方法と基準》 【評価方法】 講義:70%(課題レポート20%、終講試験50%) アメリカ研修:30%(アメリカ研修の事前準備と現地での参加度20%、振り返りレポート10%) 【評価基準】 優:80点以上、良:70点以上80点未満、可:60点以上70点未満、不可:60点未満						
《使用教材(教科書)及び参考図書》 参考文献:「ケースで学ぶ異文化コミュニケーション」有斐閣書						
《授業外における学習方法》 授業終了時に示す課題を実施しておくこと。						
《履修に当たっての留意点》 グローバル化が進む現代社会において、外国人を含む幅広い年齢層の患者さまと接する機会がこれからますます増えます。考え方、価値観、文化など異なる他者とのコミュニケーションをとるときに、異文化コミュニケーションでの学びを是非役立ててほしいと思います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	異文化とは何かについて理解できる。	資料 プロジェクター	授業終了後に、授業で学んだところを教科書で読み復習しておくこと。	
		各コマにおける授業予定	身近な異文化について、理解を深める。			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	世界の異文化について、理解を深める。	資料 プロジェクター	授業終了後に、授業で学んだところを教科書で読み復習しておくこと	
		各コマにおける授業予定	世界の異文化を食事・生活・宗教・伝統から紹介。 ゲストスピーカー(日本在住歴の長い外国人)による日本での異文化体験の話し。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	コミュニケーションとは何かを理解できる。	資料 プロジェクター	4つの基本コミュニケーションスキルを習得して授業終了後に活用する。	
		各コマにおける授業予定	コミュニケーションやコーチングの4つの基本を習得する。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	BafaBafa (異文化理解トレーニング)演習	資料 プロジェクター	各グループにわかれ、異文化理解ワークショップを通じ多様な価値観や相互理解を深める。	
		各コマにおける授業予定	いくつか国の文化や価値観の異なりを、各グループは互いに相手国を訪れ相互理解を深める演習を行う。			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	世界の国々の異文化、教育事業、貧困についてDVD鑑賞により理解を深める。	資料 プロジェクター	授業終了後に、DVD鑑賞の感想文を提出する。	
		各コマにおける授業予定	「世界の果ての通学路」DVD鑑賞。			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	日本とは違う他国の社会、食生活、文化、人々の考え方などについて理解を深めることで、自身や日本人、日本の社会について考えることができる。		資料 プロジェクター	グループに分かれ各自のスマートフォンで、3か国の基礎情報などを調べ発表する。
	各コマにおける授業予定	日本・アメリカ・ハイチと異なる3か国の基礎情報、文化、慣習、食生活、また保健制度などを各グループで調べ、発表する。			
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	文化を考慮した国際保健活動の実践		資料 プロジェクター	授業終了後に、授業で学んだところを教科書で読み復習しておくこと。
	各コマにおける授業予定	異文化理解と国際保健活動の実践の学び			
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	アメリカ研修に向けて、日本とアメリカの保健医療制度について理解を深めることができる。		資料 プロジェクター	授業終了後に、授業で学んだところを教科書で読み復習しておくこと。
	各コマにおける授業予定	日本とアメリカの基本情報(面積、人口、時差、国旗、宗教など)について、調べた内容をグループで話し合う。食生活と健康課題について、調べた内容をグループで話し合う。			
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	アメリカ研修に向けて、日本とアメリカの食生活と健康課題について理解を深めることができる。		資料 プロジェクター	授業終了後に、DVD鑑賞の感想文を提出する。
	各コマにおける授業予定	(1)日本とアメリカの保健医療制度について調べた内容をグループで話し合う。(2)アメリカの保健医療制度のまとめと、「映画シッコ」の一部DVD鑑賞(3)異文化コミュニケーションで大切なことを理解でき、実務につなげることでできる、			
第10回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	異文化コミュニケーションまとめ			授業終了後に、授業で学んだところを教科書で読み復習しておくこと。
	各コマにおける授業予定	まとめ・終講試験			
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	日本と米国の文化の違いを述べることができる			アメリカ研修までにグループごとにテーマに沿ってプレゼンテーションの準備をする。現地の発表を聞き学びをまとめる。
	各コマにおける授業予定	文化交流会で日本の文化を伝える 自校の紹介			
第12回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	保健医療福祉を取り巻く日本の現状・課題を述べることができる			アメリカ研修までにグループごとにテーマに沿ってプレゼンテーションの準備をする。現地の発表を聞き学びをまとめる。
	各コマにおける授業予定	保健医療福祉を取り巻く日本の現状について1テーマを決め発表する			
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	保健医療福祉を取り巻く米国の現状・課題を述べることができる			アメリカ研修までにグループごとにテーマに沿ってプレゼンテーションの準備をする。現地の発表を聞き学びをまとめる。
	各コマにおける授業予定	現地の授業に参加し講義を聴講する			
第14回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	病院・施設見学を通じて日本と米国との違いを述べるができる			事前に質問事項をまとめ準備をする。現地の発表を聞き学びをまとめる。
	各コマにおける授業予定	現地の病院・施設等を見学			
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	日本と米国の保健医療制度の違いや課題について自分の考えを述べるができる			研修と通じて学んだ日米の違いをまとめ、指定された日時に提出する。
	各コマにおける授業予定	アメリカ研修での学びをまとめる			